

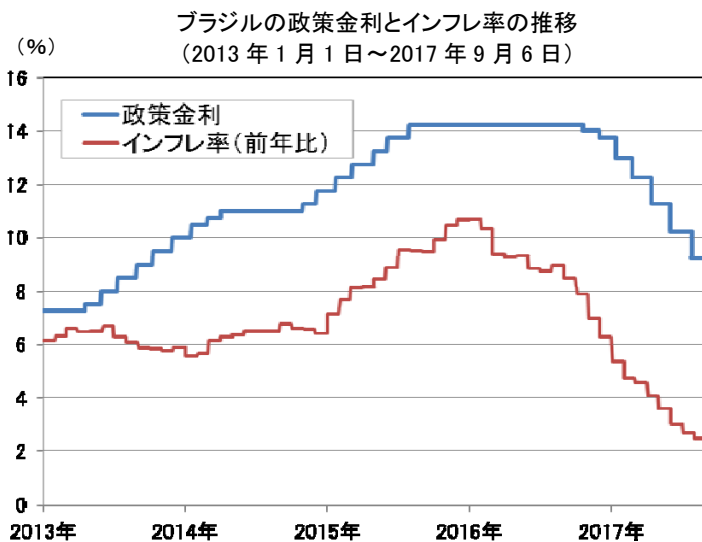
ブラジルの政策金利の引き下げについて

2017年9月6日(現地時間)、ブラジル中央銀行は、COPOM(金融政策委員会)において、Selic(政策金利)を1%引き下げ、年率8.25%とすることを決定しました。

1%の引き下げ幅は4会合連続で、市場の事前予想通りとなりました。4~6月期のGDP(国内総生産)でブラジル経済の緩やかな回復が示されたことや、消費者物価の動向などからインフレ率が低水準で推移していることなどを受けて、ブラジル中央銀行は前回7月の会合で示唆した通りの引き下げ幅で、利下げを決定しました。

一方、今回の声明では、今後の緩和ペースを減速させる可能性があることを示唆しています。昨年10月以降の金利引き下げ幅は合計6%に達しており、金融緩和サイクルにおける段階を考慮しながら、積極的な利下げは徐々に終了に向かうものと思われまます。

また、テメル大統領の汚職疑惑にかかる裁判の可否に関する投票が議会で否決されたことなどから、金融市場は足元で落ち着いた状況となっていますが、政治情勢が景気や金融政策のシナリオへ与える影響も大きく、引き続き動向を注視してまいります。



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年2月22日	12.25	-1.50
2017年4月12日	11.25	-1.00
2017年5月31日	10.25	-1.00
2017年7月26日	9.25	-1.00
2017年9月6日	8.25	-1.00

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。